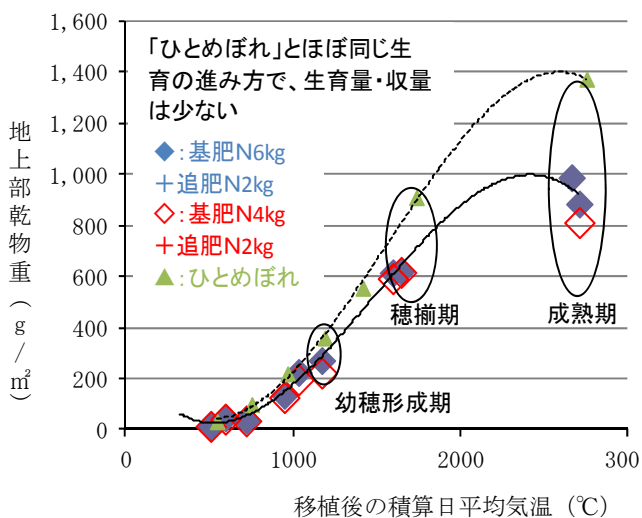


大吟醸酒向け水稻品種「結の香」の栽培の目安

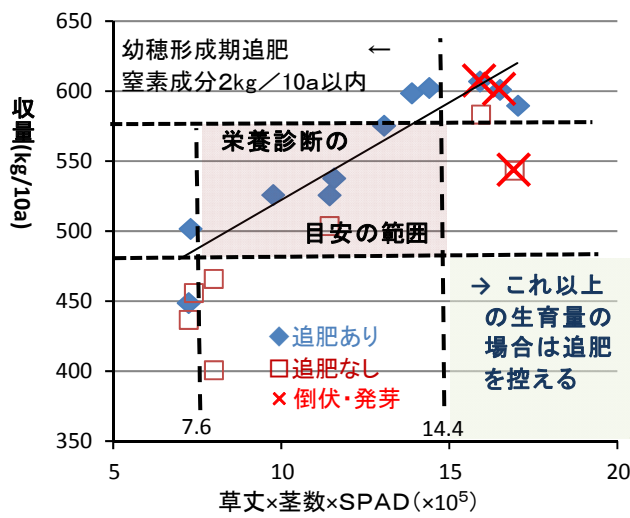
【1 成果概要】

(1) これまでの栽培事例からみた収量構成要素の目安 (玄米は 2.0mm 篩調製、図 1, 2)

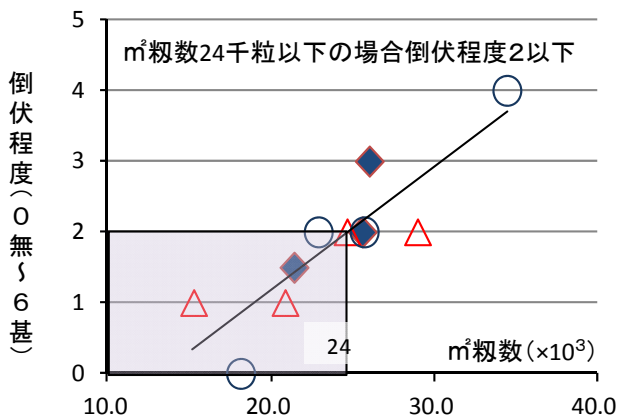
稈長 (cm)	m ² 穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	m ² 粒数 (千粒)	玄米千粒重 (g)	登熟歩合 (%)	収量水準 (kg/10a)
70~75	320~370	60~70	19~24	26~29	85~90	470~570



結の香・移植後の積算気温と地上部乾物重の関係



栄養診断の目安



結の香の粒数と倒伏程度の関係

(2) 栽培法

標準的な施肥量	基肥窒素はひとめぼれ並 (4~6 kg/10a)、追肥は幼穂形成期に窒素成分 2 kg/10a 以内
刈取り適期	黄化籾割合 80%程度 (登熟積算平均気温 1000~1100°C)。刈り取り適期範囲内で早めに収穫する。

【2 留意事項】

倒伏しやすい品種なので、栄養診断の目安を参考に追肥量を調整し、生育が旺盛になり過ぎないようにしましょう。また、穂発芽しやすいので、適期範囲内でできるだけ早めに収穫してください。